

プレス発表資料（シンポジウムのお知らせ）

平成23年 1月17日
独立行政法人防災科学技術研究所

地震防災フロンティア研究センターシンポジウム 「阪神・淡路大震災を今の災害に生かす」の開催

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）地震防災フロンティア研究センターは、平成23年1月27日（木）及び28日（金）に、神戸市中央区にあるよみうり神戸ホールにて、地元市民、自治体、専門家への研究成果の報告及び還元を目的としたシンポジウムを開催します。

1. 主催：独立行政法人防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター
2. 後援：公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
3. 日時：平成23年1月27日（木）13時00分～17時00分 及び
平成23年1月28日（金）9時30分～13時30分
4. 場所：よみうり神戸ホール
〒650-0023神戸市中央区栄町通1-2-10 読売神戸ビル2階
5. 内容：別紙資料による。
6. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会
兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ

取材を希望される場合は、お手数ですが、別添の「ご回答用紙」にて防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター研究推進室へ1月24日（月）までにFAXでお申し込み下さい。なお、事前のご質問に関しては、所属・氏名、質問内容、回答先（E-mailアドレス、FAX番号）等を明記の上、下記連絡先にFAX下さい。

【担当者】

独立行政法人防災科学技術研究所
地震防災フロンティア研究センター
特別研究員 塩飽 孝一
センター長 東原 紘道

【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
地震防災フロンティア研究センター
研究推進室
電話 078-262-5525（代表）
FAX 078-262-5526

地震防災フロンティア研究センターシンポジウム 「阪神・淡路大震災を今の災害に生かす」

防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター（EDM）は、阪神・淡路大震災を契機として設立され、兵庫県の防災拠点であるHAT神戸で研究を行ってきました。EDMでは、大都市を中心とした地震災害軽減のため、次のような先端的な研究に取り組んできました。

1. 現代の医療システムは非常に高度化されており、それとともに地震に対して脆弱になっています。また、災害医療は、医療チームの派遣、傷病者や医薬品・資材の輸送問題、病院同士や自治体・警察・消防・自衛隊さらには民間企業やNGOなどたくさんのグループ機関との連携があってはじめて力を発揮できます。そこでEDMでは、病院など医療施設自体の安全性向上と災害の際の医療サービスの確保という2つの課題に取り組んでおり、その成果として「災害拠点病院等データベース」（※1）や「災害拠点病院防災力診断指標」の開発などを行ってきました。
2. 高齢化や核家族化などにより、大災害には地域での対応が必要になっています。他方で、いろいろな緊急援助のための全国組織が参集するため、地元自治体がまとめ役を果たさなければなりません。そこで、このような自治体の能力を高めるために、時空間地理情報システム（DiMSIS）（※2）を提供して自治体の運用を支援し、平常時からの業務合理化と事務コストの削減、災害時での処理機能の維持、職員の能力向上、お年寄りや乳幼児など災害弱者に向けた支援サービスの開発、住民参加の支援を進めています。
3. EDMは、これまで防災に向けた国際共同研究を重ねてきています。その中で浮かび上がったのが研究成果と現場の連携強化の大切さです。この考えは、阪神・淡路大震災10周年に神戸で開催された国連世界防災会議の決議にも採択されました。そこで、これを実現するため、国際共同研究を通して、優良な防災実践例のウェブ・データベース（DRH-Asia）（※3）を開発しています。これは品質が高く、ウェブの長所を生かして読みやすく、しかも実践に役立つ技術情報を数多く含んでおり、防災事業を支援することができます。

これらの研究成果を報告・還元することを目的として、一般市民の方に理解していただくための参加型イベント（1月27日）、EDMにおける第2期中期計画期間5年間の総括（1月28日）を行います。

1. シンポジウム対象者

- 1月27日（木）：市民及び防災関係者
- 1月28日（金）：防災関係者及び市民

2. シンポジウムの内容（予定）

- 1月27日（木）
 - 13:00 開会挨拶
 - 13:10 iPadで見る世界の防災情報
 - 14:00 iPadを使った広域医療の体験
 - 14:30 休憩、研究成果展示

15:00 災害に強い病院設計紹介

17:00 閉会の挨拶

iPadで見る世界の防災情報：

実際に防災に取り組むことで、将来の災害の被害を減少させることができますが、何をすればよいのでしょうか？開発した防災科学技術データベースでは、役に立つ世界の防災技術や防災の知恵を見ることができます。iPadを使って、世界の防災技術、知恵、活動をご覧頂きます。

iPadを使った広域医療の体験：

阪神・淡路大震災では、被災地内病院に多数の傷病者が押し寄せました。また、近隣地域の病院は、被災地を支援すべく、多くの患者さんを受け入れました。今もう一度、この規模の地震が起こったら・・・？ 傷病者搬送のシミュレーションをiPadとグーグル地図で行います。

災害に強い病院設計紹介：

大規模地震発生に備え、多くの災害拠点病院が災害時傷病者受け入れ訓練・搬送訓練を実施しています。しかし、病院の空間は災害時のみを想定して設計されるわけではありません。災害に強い病院の空間とはどのような空間でしょうか？ 現在実施されている災害訓練内容やEDMの研究成果を反映した想定シナリオを提示し、建築家（川崎清氏・森崎輝行氏・宮本佳明氏）による設計を行いました。建築家により考案された病院の発表および五十嵐太郎氏・鶴飼卓氏による講評を行います。

1月28日（金）

9:30-9:40 理事長挨拶

9:40-11:30 第一部：阪神・淡路大震災から日本・世界の防災へ

阪神・淡路大震災とEDM 東原紘道（防災科研・EDM センター長）

防災情報の活用とEDMの研究 根岸弘明（防災科研・EDM）

災害に強い病院づくり 池内淳子（防災科研・EDM）

兵庫県災害医療センターの活動 小澤修一（兵庫県災害医療センター）

役に立つ防災技術への国際協働 亀田弘行（防災科研・EDM）

アジアでの防災の展開 是澤優（アジア防災センター 所長）

自治体の危機管理 角本繁（東京工業大学 研究員）

（各タイトルは暫定です。）

11:30-11:40 休憩

11:40-13:20 第二部：

オープンディスカッションー防災研究・実務を今の災害に生かすー

13:20-13:30 閉会挨拶

【補足説明】

※1 災害拠点病院等データベース

EDM では、災害拠点病院を対象とした「現状の災害に対する備え」や、新潟県中越沖地震（2007）時などの医療に関する実情を調査し、その病院調査結果を、災害拠点病院等データベースとして一元管理しています。これは、地震災害時に被災地近傍の災害拠点病院の情報をいち早く収集し配信する必要があるため、検索機能も強化しています。また各病院は、例えば井戸を使った給水確保、ガスのコジェネレーションを利用した電源確保、ベッドへの転用可能な待合室のいす、地域と連携した医療体制の確保など、独自の優れた取り組みを行っています。データベースは、これら優良事例を他病院へ紹介するための集積ツールとしても活用しており、その内容の一部をEDM のホームページで公開しています。

<http://www.edm.bosai.go.jp/project/project1/hospitalInfo/index.php>

※2 時空間地理情報システム (DiMSIS)

1995年の阪神・淡路大震災における自治体の災害対応支援業務を契機に開発され、新潟県中越地震などでの自治体支援を通じて改良を重ねられてきた時空間地理情報システム。（DiMSISは Disaster Management Spatial-temporal Information System より命名されました。）

※3 DRH-Asia（災害対策技術データベース）

国際ネットワークを通して、現在までに約60件の投稿があり、審査や討議を経て約40件がDRHに収録されています。また、DRH-Asiaの概念を踏襲して、DRH-China、DRH-Europe/Africa、DRH-Bangladesh、DRH-Nepalの整備が進められています。（DRH-Asiaは、Disaster Reduction Hyperbase -Asian Application- より命名されました。）

<http://drh.edm.bosai.go.jp/>

会場アクセス

【電車をご利用の場合】

J R・阪神＝元町駅、徒歩約3分

神戸市営地下鉄＝みなと元町駅、徒歩約2分

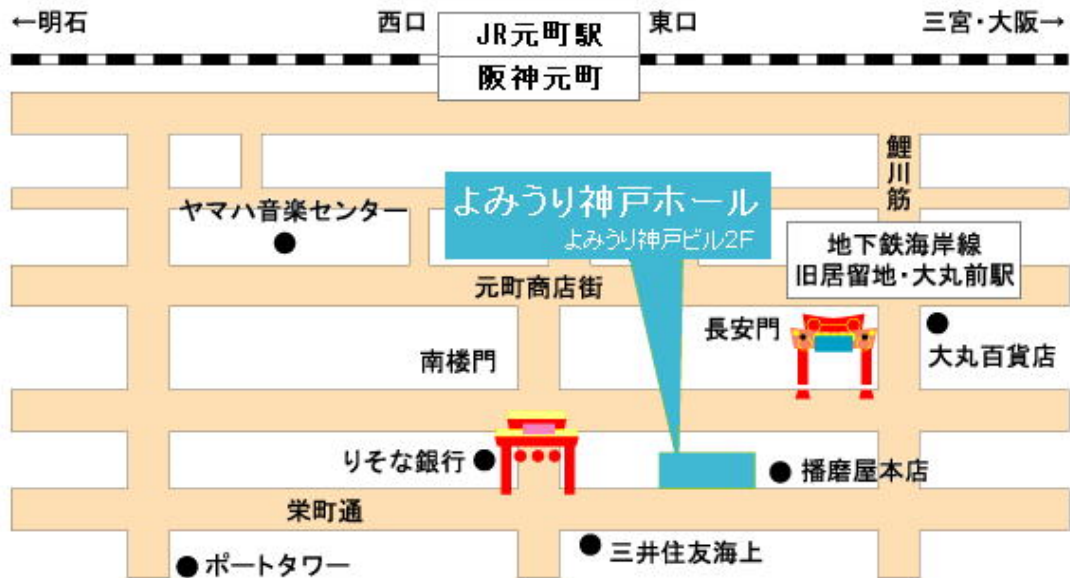


図 会場周辺図 (<http://www.yomiuri-oyf.co.jp/jigyounaiyou/koube.html>)

防災科学技術研究所 地震防災フロンティア研究センター
研究推進室 行き
(FAX : 078-262-5526)

ご回答用紙

お手数ながら1月24日(月)までにご回答お願い申し上げます

件名 : 地震防災フロンティア研究センターシンポジウム

1. 御社名 : _____

2. 御所属 : _____

3. 御名前 : _____

4. 人 数 : _____

5. 御連絡先 : (TEL) _____

(FAX) _____